

「見守りが必要な高齢者の暮らしぶりが伝わるシート」の大高学区における 試行実施について（報告）

1 経過

[平成26年度] 個別事例から緑区の地域課題を抽出

地域での見守りが必要と思われるひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯について、本人だけに限らず、別居の家族を含めた地域とのつながりづくりが必要である。



[平成27年度] 具体的な取組み

見守りが必要な高齢者の別居の家族と地域の見守りメンバーをつなぐ「シート」を作成。

実際に「シート」の活用方法の議論の中で…

「支援者の個人情報（氏名、連絡先）がシートに掲載されることは個人情報の観点からどうなのか…?!」



- 緑区役所福祉課内に「見守り事務局（以下、事務局）」を設置。
- 事務局からシートは送付する。
- シートには、支援者の個人情報は掲載しない。
- シートを送付した別居の家族から事務局に問合せ等があった場合、事務局が支援者に確認、相談のうえ、対応していく。

事務局が送付するとともに別居の家族からの問い合わせ等への対応を行うもの。



大高学区の一部（地域支援ネットワーク部会 小林部会長様担当地域）にて試行実施

2 対象者

大高学区の上記地域において、高齢者福祉相談員（福祉課職員）が訪問しているひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯のうち、日常生活を送るうえで何らかの地域の見守りを必要とし、別居の家族との交流が十分ではないと思われる方。かつ、小林部会長様により、対象者本人の同意が得られたひとり暮らし高齢者6人。

*生活保護受給者は、高齢者福祉相談員の訪問対象とはならない。

3 実施状況

(1) 対象数

20世帯。内訳は、ひとり暮らし高齢者18人（男性6人、女性12人）、高齢者のみ世帯が2世帯。

(2) 送付数

6名分。この6名は、対象者のうちシートの送付について同意が得られた方（いずれもひとり暮らし高齢者で、男性1人、女性5人）。

(3) 送付後の反応

なし（11月20日現在）

(4) シート送付について本人の声

○同意された方

- ・病後の経過が芳しくなく家にいることが多いから。
- ・おもしろい発想だ。進めてください。
- ・よい思い付きだ。早く実行してほしい。
- ・特に問題ありません。賛同。

○辞退された方

- ・娘が毎日、家族の介護のために本人宅近くの老人ホームに来ており、そのついでに日用品、食料品を買って訪れてくれている。
- ・娘が孫を連れて毎週顔を出している。
- ・頻繁に親族と連絡を取り合っているから。
- ・（自分が）働いている（ので元気だから不要）。
- ・（別居の親族は）施設入所しているから。
- ・夫婦でディサービスに通っているから。
- ・何かあったら担当の民生委員に連絡するから辞退。

4 課題（本当の意味で「使えるシート」にしていくための課題）

- ① 見守りが必要な高齢者本人の同意について、どう考えるか。
- ② 送付は、問合せ等がなければ、こちらからの一方通行でしかない…。シートを送付後、その次のあり方をどう考えるか。
- ③ 支援者の個人情報をシートに記載することをどう考えるか。
例えば、親族からの問合せ等により、親族と支援者がつながった後に再度シートを送付する場合など…